

	内容	留意事項
準備工	<ul style="list-style-type: none"> ・車両カバンの準備 ・アルコールチェックを全員に実施 ・体温測定 ・作業打ち合わせ(KY活動)各基地に体制と予報の確認 ・車両点検の実施 ・雪氷基地にて待機 ・雪氷本部より要請があったら出動する ・梯団を組む各車両乗務員と作業打合せを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・車両カバン内業務用プレート・鍵の有無確認 ・飲酒運転が絶対にならないよう作業を行う ・各自体調管理を行う ・リスクアセスメントによる危険予知訓練の実施 ・異常がある場合報告し指示を仰ぐ ・運行前点検各装備のチェック搭載備品の有無確認(積荷の飛散防止確認) ・速やかに出動できる体制をとる ・作業指示を確認する ・作業指示の再確認を徹底しトランシーバーのチャンネル確認をする
作業中	<ul style="list-style-type: none"> ・無線開局を雪氷本部とする ・字幕の確認 ・作業現場に出発する ・前方作業車と交信をし通行車両に注意し作業を開始する ・車両管理システム(VIPS)の使用 ・本線合流は縦列により合流し後尾警戒車両は後方一般車両との安全な間隔を確認しセンターライン付近に移動する 後尾警戒車の移動後、除雪車及び湿塩散布車に進路変更の指示を出す。【字幕は追い越し禁止】 <p>手順</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ランブ除雪を行いながら加速車線に向かう ②ブラウが走行車線にはみ出さない位置で停車する ③ブラウを格納する(3.5m幅～4.5m幅すべて共通とする) ④標識車はゼブラゾーンにて停車する ⑤後尾警戒車の合図で除雪車及び湿塩散布車は走行車線に流入する(ブラウは格納した状態で流入) ⑥後尾警戒車は後続の一般車との安全な間隔を確認しセンターライン付近の追い越し車線に進路変更を行う (後尾警戒車はセンターラインをまたいだ状態でも良い) ⑦後尾警戒車の字幕は追越禁止にて除雪車及び湿塩散布車に進路変更の指示し作業車はブラウを広げ除雪・兼用作業を開始する <ul style="list-style-type: none"> ・作業中の安全車間距離を確保する ・作業後の路面状況及び天候等を雪氷本部に無線を入れる ・各基地に到着したら雪氷本部に無線を入れ以後の指示を仰ぐ ・雪氷本部に無線を入れ閉局をする <p>※チェーン装着規制時でチェーン装着車両は明かり間の作業は行わない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各車両の乗務員全員に作業内容の周知徹底 ・本部からの変更指示は後尾警戒乗務員の指示による作業で行う ・上段:作業中 下段:追い越し禁止 ・交通量に注意し制限速度を守る事:後方確認をしっかり行い車間距離をしっかりとる ・料金所前の横断には一般車両の通行を確認し接触等には注意する ・後続車両の車間距離を確認する:圏原からの出発は誘導員の合図による(圏原からの出発車両は誘導員と合図の打ち合わせ確認を行う) ・車両管理システム(VIPS)を使用する【作業内容に伴い切り替えを行う】 使用しないときは確実に電源を切ること ①ランブ除雪を行い停止する際は雪山にしないよう注意する ②特に4.5m幅のブラウには注意し一般車と接触のないよう停車にする ③格納する際ブラウがまっすぐ状態になるのではみ出しを考慮し停車する ④ランブ作業時に作業車の後続車等には注意する(ハザード・ウインカー等の確実な使用及び後続車の確認) ⑤後方から接近する一般車がいた場合逃げ場を確保するために走行車線を走行する ⑥後尾警戒車は後続車一般車のスピード等も考慮し安全な状態での進路変更を行う ⑦ブラウを開く際防護網等と接触させないように注意する ・散布状況の確認をする ・投排雪禁止区間の速度に注意する ・時間に余裕があれば業務電話連絡でも良い ・車両の燃料等注意する ・ウレタンゴム・エッジの摩耗状況に注意する ※作業指示を本部へ確認すること (例:下り線網掛反転路にて反転後、上り線を兼用除雪など)
後片付け	<ul style="list-style-type: none"> ・使用車両の給油・洗車・片づけの確認をする ・車両カバンの返納 ・ホッパー内の洗車時に高所からの転落 ・終礼の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行後点検各装備のチェック搭載備品の有無確認 ・車両カバン内業務用プレート・鍵の有無確認をしてもらう事 ・洗車手順書により ・リスクアセスメントによる危険予知訓練により実施 <p>(作業報告書を担当者に提出する)</p>

注意事項

- ・飲酒運転禁止
- ・有資格者の確認及び資格書の携帯
- ・保護具の完全着用
- ・1人作業の禁止

作業編成(標準)	員数	資機材
責任者	1名	湿塩散布車(2名)
作業員	5名	除雪車(2名)
		後尾警戒車(2名)

安全器具・保護具確認

ヘルメット・反射(自発光)チョッキ・反射スバツ
 発煙筒・黄旗・警笛/安全帯